

ポスター発表 | 若手研究者ポスター賞：若手研究者ポスター賞エントリー発表

📅 2025年6月1日(日) 11:20 ~ 12:00 📍 若手研究者ポスター賞 (教育文化ホール大集会室)

若手研究者ポスター賞エントリー発表

🍷 若手研究者ポスター賞エントリー 🍷 食物 - 調理・加工

[P-002]

異なる原料小豆から調製した粒あんの嗜好性と官能特性

*竹内 薫¹ (1. (地独) 道総研)

🍷 若手研究者ポスター賞エントリー 🍷 食物 - 調理・加工

[P-004]

肉の筋繊維模倣により食感を制御したレーザーフード3Dプリント代替肉

*宮崎 和真¹、武政 誠¹ (1. 東京電機大学)

🍷 若手研究者ポスター賞エントリー 🍷 被服 - 心理・意匠・服飾

[P-006]

家族との新しいコミュニケーションの取り方

同じ服を着て思い出を作る

*内田 悦路¹、須田 理恵¹ (1. 文化学園大学)

🍷 若手研究者ポスター賞エントリー 🍷 家政教育

[P-008]

人生100年時代のライフプランを考える教材開発

高校生を対象とした人生設計のためのアンケートを実施して

*両頭 早希¹、松本 歩子¹、延原 理恵¹、片岡 愛² (1. 京都教育大、2. 京都教育大附属高校)

ポスター発表 | 若手研究者ポスター賞：若手研究者ポスター賞エントリー発表

📅 2025年6月1日(日) 11:20 ~ 12:00 📍 若手研究者ポスター賞 (教育文化ホール大集会室)

若手研究者ポスター賞エントリー発表

◆ 若手研究者ポスター賞エントリー ◆ 食物 - 調理・加工

[P-002] 異なる原料小豆から調製した粒あんの嗜好性と官能特性

*竹内 薫¹ (1. (地独) 道総研)

キーワード：小豆あん、官能評価、CATA法

目的 小豆あんのうち「こしあん」では粒子径が嗜好性に寄与することが知られるが、粒あんについては嗜好性に寄与する特性が不明である。本研究では原料の品種が異なる粒あんについて消費者型パネルによる官能評価を行い、それらの嗜好性に寄与する官能特性を明らかにした。

方法 北海道産普通小豆4品種，大納言小豆2品種，本州産白小豆1品種を供試した。乾豆100gと純水600gを電気圧力鍋で35分間煮熟して煮汁を切った。グラニュー糖110gを煮豆に加え，あん重量が660gに減少するまで煮熟した。消費者型パネル45名がテクスチャー・風味各9項目についてCATA法で特性評価を行い，次いで7段階評定法で嗜好性を評価した。また食の好みについて質問紙調査を行った。

結果 次のとおり粒あんの嗜好性に寄与する官能特性が明らかになった。風味に関する官能特性のうち「後味が強い」「栗の風味」「さっぱり」は嗜好性を高め，「アクが強い」「土くさい」「穀物くさい」「渋味」は嗜好性を低下させた。テクスチャーの官能特性のうち「なめらか」は嗜好性を高め「皮がかたい」「皮が口に残る」は嗜好性を低下させた。また「長時間なめる食品が好き」と回答したパネルでは「ざらざら」の選択割合に試料間差があり，「ざらざら」は嗜好性を低下させた。同じ試料でも食の好みによって食べ方や感じる官能特性が異なり，嗜好性へ影響する官能特性が異なることが示唆された。

ポスター発表 | 若手研究者ポスター賞：若手研究者ポスター賞エントリー発表

📅 2025年6月1日(日) 11:20 ~ 12:00 📍 若手研究者ポスター賞 (教育文化ホール大集会室)

若手研究者ポスター賞エントリー発表

◆ 若手研究者ポスター賞エントリー ◆ 食物 - 調理・加工

[P-004] 肉の筋繊維模倣により食感を制御したレーザーフード3Dプリント代替肉*宮崎 和真¹、武政 誠¹ (1. 東京電機大学)

キーワード：食感、フード3Dプリンタ、代替肉

目的 肉の食感は、タンパク質で構成されたサブミリスケールでの繊維間の結合強度に起因するが、この複雑な構造を人工的に再現することは困難である。本研究では、レーザー3Dプリント技術を用いて、筋繊維を含んだ代替肉を作製し、精密な食感設計による模造肉の食感制御法を開発することを目的とした。

方法 レーザー光源に半導体レーザーを用い、熱硬化性ゲルの高分子素材として卵白、食用色素を吸収剤として添加したフードインクを使用した。楔型プランジャーを用いて、代替肉の繊維に対して平行及び垂直方向に一軸圧縮試験を実施した。圧縮試験では、最大圧縮力を「かたさ」、圧縮方向による最大圧縮力の差を「構造異方性」として、3Dモデルによる各種食感への影響を評価した。

結果 圧縮試験結果より、3Dモデルの設計のみで、「かたさ」の制御が可能となり、角煮様の食感を繊維のほぐれやすさとして、また噛み応えのあるステーキの食感までも造形可能となった。二重にレーザー照射されるオーバーラップ領域を調整することで、架橋密度の増減により繊維間同士の結合強度を制御できたことに起因すると考えられる。さらに、上下の2ブロックに肉を分割し、それぞれで繊維間距離を変化させた不均一構造により、12.4倍までの「構造異方性」の制御も可能となった。繊維の配向が顕著である鳥ささみ肉の「構造異方性」は約3倍であるため、幅広い肉の構造異方性を3Dプリントできる技術を確立したと考えられる。

ポスター発表 | 若手研究者ポスター賞：若手研究者ポスター賞エントリー発表

📅 2025年6月1日(日) 11:20 ~ 12:00 📍 若手研究者ポスター賞 (教育文化ホール大集会室)

若手研究者ポスター賞エントリー発表

◆ 若手研究者ポスター賞エントリー ◆ 被服 - 心理・意匠・服飾

[P-006] 家族との新しいコミュニケーションの取り方

同じ服を着て思い出を作る

*内田 悦路¹、須田 理恵¹ (1. 文化学園大学)

キーワード：衣服の共有、新たなコミュニケーション、スーツ

【目的】兄はダウン症で、言葉でのコミュニケーションをとることは難しい。本研究は、言語の他にコミュニケーションの方法を考える中で、共有の衣服を着用することで感じられることや互いの思い出に繋がるような、新たなコミュニケーションの方法を検討することを目的とした。【方法】兄が所属するダンスチームのメンバーを対象に、日常生活で衣服を着用する際の現状と問題点を把握する為、アンケート調査を実施した。これらの結果より兄と共に着用できるスーツのデザイン立案製作ならびに着用評価を行った。【結語】ダウン症の特徴は、身長や手足、頸、腕などが標準よりも小さく短いことが示唆され、上記のアンケート調査の結果においても、衣服の丈感による問題が明らかとなった。また、スーツ類はオーダーするとの回答も見られた為、兄と共に着用できるように手足の長さの差異を解決するべく丈の調節が可能なデザインを立案製作した。評価では、重量感において兄の場合低評価だったことから、選択した素材と縫製の仕方の検討が示唆されたものの、兄がスーツに腕を通し際にとっても嬉しそうな表情が見られ、その瞬間に兄とコミュニケーションを実感し、必ずこの先も着用してくれると思われた。衣服を通じて、言葉以外でもコミュニケーションの取り方の可能性が示された。

ポスター発表 | 若手研究者ポスター賞：若手研究者ポスター賞エントリー発表

📅 2025年6月1日(日) 11:20 ~ 12:00 📍 若手研究者ポスター賞 (教育文化ホール大集会室)

若手研究者ポスター賞エントリー発表

◆ 若手研究者ポスター賞エントリー ◆ 家政教育

[P-008] 人生100年時代のライフプランを考える教材開発

高校生を対象とした人生設計のためのアンケートを実施して

*両頭 早希¹、松本 歩子¹、延原 理恵¹、片岡 愛² (1. 京都教育大、2. 京都教育大附属高校)

キーワード：家庭科教育、ライフプランニング教育、高等学校

【目的】 高校家庭科教育では、人の一生について様々な生き方を理解するとともに、自らの生き方を見つめ、生涯を見通した生活を設計できるようにすることをねらいとしている。しかしながら、人生100年時代と言われる複雑な現代社会においては、多様なライフコースが存在しており、ライフプランに対する考え方も多様化している。よって本研究では、これからの時代における高校生へのライフプランニング教育のあり方を検討するため、高校生のライフプランに関する意識の実態を把握することを目的とする。【方法】 家庭基礎を受講する高校生を対象にライフプランの意識や、将来への不安感等に関するWEBアンケートを実施した。有効回答数はA校141 (男61、女78、他2) 及びB校169 (男87、女74、他8)。調査期間は2024年7月 (A校) 及び12月 (B校)。【結果】 仕事の継続や育児分担等、複数の項目でライフプランの意識に性別による差が見られた。また高校生は将来について多様な不安感を感じており、特に老後への不安感は、結婚するつもりがない者や、子どものぞまない者に高い傾向があった。今後の家庭科教育においては、性別役割分担意識を問い直すさらなる働きかけや、これまでの典型モデルとは異なるライフコースを選択する生徒へのフォローを行うことが期待される。さらに、アンケートの実施及び結果の共有がライフプランを考える教材として一定の効果があることも示唆された。